

【くわんけい寄進状】

(端書) 「阿弥陀御事計也、

「方便智院」

田地売去者也、

有栖川田地重書 四段、
〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰

(寄進) きしんしたてまつる、(阿弥陀) あミたの三

(貼紙) 「そんならひに」

(尊) そんならひにふしやうてんまへた(前田)

にたんの事

(件) 右、(本尊) くだんのほんそん、(代々相伝) たいくさうてんきへ(帰依)

あさからず、(現当) けんたうのそくわん、(所願) ひとへ二

このほんそんをたのミたてまつり候、(奉)

(貼紙) 「かうせんし」
高山寺

(方便) 智

しかるに、かうせんしはうへんち(祖父)

いん(阿弥陀堂) のあミたたうハ、くわんけいかそふ

せん日(建) のきしんにあひあたて、

(立) りう(場) したてまつるれい(靈) ちやうなり、

(代々) たい(追善) くのつ(善) いせん(善) しかしなから

かのてら(寺) をたのミたてまつる、よて

くわんけい(存) ふ(深) かく(由緒) このゆい(緒) しよを

そん(存) する(存) あいた、(渡) くだんのあミたの三(奉)

む(奉) はうへんち(前) いんに(渡) わたしたてまつる

もの(前) なり、(次) つきに(次) ふしやうてんまへ

(貼紙) 「なかく」
永クナリ

(田二反) たに(同) たんを(寄付) なしく(寄付) きふ(寄付) したてま

つ(永代) るところ(永代) なり、(永代) 煮(永代) いた(永代) いをか(限) きて